

## 協議題1「部活動の地域移行について」

### <国・県の動向>

国では、少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツや文化芸術活動に親しむ機会を確保することや、教員の負担軽減を図る観点から、令和4年12月に「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を策定し、令和5年度から7年度を改革推進期間として、部活動の地域移行を推進することとしている。

また、県においては、同ガイドライン等を踏まえ、本年8月にスポーツや文化芸術活動を通じた生徒の健全育成という観点から、県内公立中学校を対象とする「秋田県における部活動地域移行推進計画」を公表し、各市町村において地域の実態に応じた地域移行の在り方について検討し、具体的な取組を進めていくことが必要であるとしている。

### <本市部活動の現状>

#### 1 中学校部活動の加入状況

	全生徒数	運動部	文化部	加入率
R5	6,568人	3,574人	1,527人	77.7%
R4	6,697人	3,774人	1,583人	80.0%
R3	6,761人	3,955人	1,568人	81.7%
R2	6,752人	3,950人	1,450人	80.0%
R1	6,814人	4,248人	1,560人	85.2%

#### 2 加入人数の多い部活動（R5）

[運動部] 陸上競技576人、バスケットボール575人、ソフトテニス515人

[文化部] 吹奏楽671人、美術555人、科学181人

#### 3 部員不足による合同チーム編成（R5）

春季大会：18校7チーム（サッカー3、ソフトボール1、バレーボール女子1、バスケットボール女子1、野球1）

中総体：13校6チーム（サッカー3、ソフトボール1、バスケットボール女子1、野球1）

## <本市の取組>

### 1 本市の方向性

- ・令和6年度から、休日の部活動について移行可能な種目等から段階的に移行する。
- ・学校単位での部活動は原則平日のみとし、休日は希望する生徒がそれぞれスポーツ少年団や地域のスポーツクラブ、文化団体等において活動できる体制を目指す。
- ・平日の部活動の地域移行は、休日の地域移行の進捗状況等を検証しながら進める。
- ・地域におけるスポーツ・文化芸術活動の場の確保や生徒の多様なニーズに合った活動機会の充実などについて、地域の団体等と学校との連携・協働を推進する。

### 2 「秋田市中学校部活動の地域移行に向けた協議会」の設置

令和5年2月、地域のスポーツ・文化振興に関わる団体等や学校関係者などによる協議会を設置し、本市の方向性の共通理解を図るとともに、地域移行に向けた検討を行っている。

[協議会参加団体]

中学校長会、中学校体育連盟、市スポーツ協会、市PTA連合会、総合型地域スポーツクラブ代表、スポーツ振興課、文化振興課、教育委員会

### 3 休日部活動の地域移行のパターン案

合同地域スポーツ活動	種目ごとに複数の学校が集まって活動する。
スポーツ少年団	スポーツ少年団等に中学生が入団する。
文化芸術団体	文化芸術活動に中学生が参加する。
総合型地域スポーツクラブ	スポーツクラブを生徒が選択して活動する。
プライベートの生活	家族での生活、休養・学習等を優先する。
民間事業者	クラブチームや道場、教室等で練習する。

### 4 進捗状況

- 令和5年2月 第1回協議会：地域移行の方向性、スケジュール等を提案
- 3月 第2回協議会：地域移行の方向性の確認、課題等の整理
- 4月 第3回協議会：意識調査の内容検討
- 5月 第4回協議会：パターンごとの課題等の整理  
意識調査（小学6年生～中学生および保護者、中学校教員対象）
- 7月 第5回協議会：意識調査の結果を確認
- 8月 第6回協議会：パターンごとの進捗状況の確認①
- 9月 第7回協議会：パターンごとの進捗状況の確認②  
意識調査の結果を教委HPで公表